

「デジタル推進委員」になるう！



デジタル推進委員は、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル社会」の実現に向け、デジタル機器・サービスに不慣れな方々に対し、スマートフォンやタブレットの利用方法をはじめ、各地のデジタルサービス、マイナンバーカードやマイナポータルの利用方法等を教えたり、サポートしたりする役割を担います。

あなたもデジタル推進委員として活動しませんか？

デジタル推進委員になると

メリット1

地域貢献の幅が
広がる！



メリット2

世代間交流に
つながる！



メリット3

デジタルリテラシーの
向上に繋がる！



2023年10月末時点で、
40,000人を超える方々が
デジタル推進委員として活躍しています。

デジタル推進委員に任命されると、
任命状とオープンバッジ(電子的な
画像によるバッジ)を付与します。
オープンバッジはご自身の名刺や
SNS等で利用できます。



オープンバッジ

裏面で、活動している人のエピソードを紹介！

応募方法

デジタル庁「デジタル推進委員の取組」ページから、
取組内容や募集要項等をご覧いただき、
専用フォームからご応募ください。

取組ページ



応募フォーム



問い合わせ先

デジタル推進委員サポートセンター
support@digital-promotion-staff.jp
0120-780-325 (フリーダイヤル)
[平日] 9時30分から18時15分まで

三好 みどり さん (NPO所属講師)

デジタル推進委員になり責任感が強くなった



デジタル庁のお墨付きとなったことで、『しっかりと伝えないといけない』という責任感が強くなりました。今までは分からないことは「携帯ショップに聞いてください。」と任せていましたが、そんな無責任なことはできないので、日々勉強しなければならないという気持ちが増しました。相談者からの質問は勉強材料になります。



西田 克幸 さん (通信会社社員)

もっとスマートフォンに不慣れな方の
力になりたい

講師を務めるなかで、高齢者の気持ちを知ることができ、デジタルに不慣れな方が取り残されている実情を身をもって体感しました。多くの高齢者と接していくうちに、『もっとスマートフォンに不慣れな方の力になりたい』と思いました。初めは全くスマホを使えなかった方が、講座の終わり側に上達した姿を見られることはとてもやりがいを感じます。

人見 紀彦 さん (鉄道会社社員)

地域の一員としてデジタルサービスを
普及させるお手伝いができることがやりがい



JR前橋駅では『デジタルよろず相談所』というスマートフォンに関する相談所を駅のコンコースにて月に1回程度開催しています。鉄道に関わるデジタルサービスを中心に対面でお話することで「スマートフォンにこんな機能があったの?」と初めて知って喜んでいただける瞬間に、デジタル推進委員として活動している大きなやりがいを感じています。



伊藤 かりん さん (大学生)

高齢の方と交流ができて
自分も楽しい時間を過ごすことができる

アルバイト仲間である高齢の方にデジタル端末の使い方を教えたことがあり、ちょっとしたやりがいを感じたことが参加したきっかけです。スマホ教室では学生生活ではあまり交流を持つことができない高齢の方とも会話をするのができて自分自身も楽しい時間を過ごせています。また、感謝の言葉をかけてくださることも多く、前向きに取り組んでいます。